



平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月12日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東京証券取引所マザーズ
 コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太 TEL (03) 5723-8500
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績（平成25年2月1日～平成25年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	1,498	13.2	83	△46.5	82	△60.8	34	△69.7
25年1月期第1四半期	1,323	—	155	—	211	—	113	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 32百万円 (△71.1%) 25年1月期第1四半期 110百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	16.58	15.59
25年1月期第1四半期	54.97	51.28

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を前連結会計年度より行っているため、平成25年1月期第1四半期の増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第1四半期	2,827	943	33.4
25年1月期	2,515	911	36.2

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 943百万円 25年1月期 911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年1月期	—				
26年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,986	18.7	264	4.0	261	△15.5	146	△11.7	70.08
通期	6,202	20.7	564	47.8	558	23.2	312	32.5	149.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年1月期1Q	2,083,800株	25年1月期	2,082,600株
26年1月期1Q	120株	25年1月期	76株
26年1月期1Q	2,082,601株	25年1月期1Q	2,070,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済・金融政策に対する期待感から、円安・株高が進行し、景気は回復基調で推移しているものの、欧州における債務問題等には引き続き懸念材料も多く、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、住宅需要の拡大と連動して回復傾向にあるものの、依然として消費者の低価格志向は浸透したまま販売競争が激化する等、経営環境は予断を許さない状況が続いております。

このような経済環境のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた自分らしい暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業においては、商品の企画開発、販売力の強化、店舗の拡充に取り組みました。また、food事業は、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置付けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,498,132千円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益83,334千円（同46.5%減）、経常利益82,880千円（同60.8%減）、四半期純利益34,519千円（同69.7%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

①unico事業

unico事業における主たる売上である家具におきましては、フィリピンの当社グループ工場で生産しているオーク材を使用した北欧ヴィンテージテイストのキッチンシリーズSIGNEは、昨年秋のブライダルシーズンに合わせて投入したダイニングシリーズが春のシーズンでも引き続きご好評をいただきました。また、新シリーズとして投入したヴィンテージテイストが魅力のレザーを使用したハイバックソファのFRAYEがお客様のニーズと合致し、ご好評をいただきました。一方で、フィリピンの当社グループ工場を生産能力向上・原価率抑制を目的として税制優遇が受けられる経済特区へ移転しましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、移転・営業許可取得に伴う生産・出荷の一時休止や移転コストの負担が生じました。

カーテンにおきましては、昨年9月に投入した当社デザイナーによるオリジナル企画アイテムに、平成25年3月に新シリーズを追加投入したことで、ドレープとレースの柄の組み合わせにバリエーションが増え、引き続きご好評をいただきました。

販売費及び一般管理費は、店舗拡充による人件費・地代家賃等の負担増加や、平成25年2月に導入した「unicoハウスカード」の導入費用、前受金の増加に伴うクレジット取扱手数料の期ずれによる負担等の影響により、前年同四半期連結累計期間を上回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,467,660千円（前年同四半期比13.8%増）、セグメント利益は86,102千円（同44.8%減）となりました。

②food事業

BISTRO KHAMSAでは、お客様第一を基本とした営業スタイルを継続しながら、利益確保のため、料理のクオリティを高め、ワインの品揃えを豊富にし、適正な価格でご提供することで新規顧客を獲得することが出来ました。Le bistroでは、テレビ・雑誌等各メディア媒体への継続した露出やロコミ等によりリピート顧客からの高いご支持をいただきました。bistro oeuf oeufでは、営業面・販売促進面を見直し、顧客満足を追求した結果、利益率の向上に繋がりました。これらにより、各店とも業績は上向しているものの、平成25年2月に実施した人事異動・店舗リニューアルの負担を賄いきることができませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30,471千円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント損失は2,768千円（前年同四半期は271千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より312,679千円増加し、2,827,772千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加209,394千円、及び売上高の増加に伴う売上債権の増加72,469千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ280,675千円増加し、1,884,611千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加50,848千円、及び借入金の増加209,163千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ32,004千円増加し、943,160千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加34,519千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関しましては、平成25年3月14日の「平成25年1月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、フィリピンの当社グループ工場が経済特区へ移転したことにより、生産能力を従前の約4倍に引き上げ、原価率を抑制させるとともに、大規模ターミナル駅やベッドタウンへの新規出店の強化、兵庫物流センターの本格稼働による荷造運賃の削減等に取り組むことにより、売上高・利益率の向上を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	372,796	582,191
売掛金	244,191	316,661
商品及び製品	747,755	718,737
仕掛品	8,999	18,795
原材料及び貯蔵品	48,502	62,907
繰延税金資産	23,066	23,066
その他	102,052	85,823
貸倒引当金	△878	△1,139
流動資産合計	1,546,487	1,807,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,740	446,142
その他(純額)	96,385	101,876
有形固定資産合計	518,125	548,018
無形固定資産		
投資その他の資産	53,099	62,767
繰延税金資産	63,861	63,861
敷金及び保証金	325,823	338,575
その他	7,694	7,505
投資その他の資産合計	397,380	409,943
固定資産合計	968,605	1,020,728
資産合計	2,515,092	2,827,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	157,048	207,896
短期借入金	240,376	135,049
1年内返済予定の長期借入金	262,968	339,226
未払法人税等	146,857	50,986
賞与引当金	26,511	56,882
その他	424,768	512,344
流動負債合計	1,258,530	1,302,385
固定負債		
長期借入金	294,526	532,758
退職給付引当金	6,984	7,309
資産除去債務	29,500	29,555
その他	14,394	12,603
固定負債合計	345,405	582,226
負債合計	1,603,936	1,884,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,215	206,242
資本剰余金	186,215	186,242
利益剰余金	513,584	548,103
自己株式	△93	△155
株主資本合計	905,921	940,433
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,235	2,727
その他の包括利益累計額合計	5,235	2,727
純資産合計	911,156	943,160
負債純資産合計	2,515,092	2,827,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	1,323,878	1,498,132
売上原価	528,712	629,066
売上総利益	795,165	869,065
販売費及び一般管理費	639,512	785,731
営業利益	155,653	83,334
営業外収益		
受取利息	30	54
為替差益	2,081	1,681
保険解約返戻金	52,603	—
その他	4,321	879
営業外収益合計	59,038	2,616
営業外費用		
支払利息	2,489	2,378
その他	953	692
営業外費用合計	3,442	3,070
経常利益	211,248	82,880
特別損失		
減損損失	1,118	—
特別損失合計	1,118	—
税金等調整前四半期純利益	210,130	82,880
法人税等	96,334	48,360
少数株主損益調整前四半期純利益	113,796	34,519
四半期純利益	113,796	34,519

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,796	34,519
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,190	△2,507
その他の包括利益合計	△3,190	△2,507
四半期包括利益	110,606	32,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,606	32,011
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。